

■在宅療養の方に知っておいていただきたい災害への備え

日頃より医療機器の定期点検と、バッテリー等の状態の確認を行いましょう。また、お使いの医療機器の状態がわからない方は、メーカー・販売業者にご相談ください。

【人工呼吸器使用の方】

- ・内蔵バッテリーの有無・バッテリーの寿命の確認をしましょう。
- ・外部バッテリーもしくは予備機の備えをしましょう。
- ・アンビューバッグが用意できる場合は用意しましょう。
- ・車のシガーソケットから充電可能な機器の場合は専用のアダプターを備えましょう。
- ・予備のチューブや衛生セットを持ち運べる状態で保管しておきましょう。

【吸引器を使用している方】

- ・内蔵バッテリーの有無・バッテリーの寿命の確認をしましょう。
- ・外部バッテリーもしくは予備機の備えをしましょう。
- ・電源を使用しない手動式・足踏み式の吸引器の備えをしましょう。
- ・予備のチューブや衛生セットを持ち運べる状態で保管しておきましょう。

【在宅酸素療法をしている方】

- ・予備の酸素ボンベの備えをしましょう。
- ・火気厳禁なので、使用方法・保管場所にも注意をしてください。
- ・移動用のキャリーを備えましょう。
- ・予備のチューブや衛生セットを持ち運べる状態で保管しておきましょう。

【人工透析中の方】

- ・在宅で人工透析をしている方は、内蔵バッテリーの有無・バッテリーの寿命の確認をしましょう。
- ・外部バッテリーの備えをしましょう。
- ・低カリウム・エネルギーの多い非常食（カロリーメイトなどのバランス栄養食・減塩タイプの保存食）を備えましょう。
- ・水分補給ができるよう保存水を備えましょう。

【インスリン・成長ホルモン等の冷蔵保存を要する薬剤を使用している方】

- ・冷蔵保存状態確保のため、クーラーバッグ、保冷剤の備えをしましょう。
- ・薬剤の保管方法については病院・薬局や薬剤メーカーにお問い合わせください。
* 冷凍してはいけないものもあります。
- ・注射器・衛生セットも備えましょう。

【服薬中の方】

- ・非常時に持ち出せるよう、携帯用に予備の薬を備えましょう。

【体温維持が困難な方】

- ・気温上昇に伴う体温上昇に備え、クールベスト・保冷剤（保冷枕）・クールマット・冷却マットの備えをしましょう。
- ・気温低下に伴う体温低下に備え、カイロ・アルミブランケット・毛布などを備えましょう。

共通事項

ライト、非常食や水、携帯用ラジオ、現金等の非常時必要なものを整理しておきましょう。
緊急避難先・通院先の病院・介護事業所等の連絡先を確認し、メモしておきましょう。
お薬手帳がある場合には、お薬手帳に疾患に関すること・緊急連絡先をメモしておきましょう。

* 札幌市では、バッテリー・アンビューバッグ・酸素ボンベの購入等に対する補助事業等はありません。ご了承ください。
(人工呼吸器のバッテリーは医療保険の対象となることがあります。詳しくは主治医にご相談ください。)